

AMDA令和8年熊本地震
被災者緊急支援活動報告

特定非営利活動法人アムダ

南海トラフ災害対応プラットフォーム合同対策本部　本部長　大西彰

派遣期間：2026年7月29日～8月24日

活動地域：熊本県八代市

編成（職種・人数）、派遣期間

氏名	職種	日数	7月29日(水)	7月30日(木)	7月31日(金)	8月1日(土)	8月2日(日)	8月3日(月)	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)	8月8日(土)	8月9日(日)	8月10日(月)	8月11日(火)	8月12日(水)	8月13日(木)	8月14日(金)	8月15日(土)	8月16日(日)	8月17日(月)	8月18日(火)	8月19日(水)	8月20日(木)	8月21日(金)	8月22日(土)	8月23日(日)	8月24日(月)
[redacted]	調整員	5	○	○	○	○	○																						
大西　彰	調整員	19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○
[redacted]	医師	4		○	○	○	○																						
[redacted]	看護師	21		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
[redacted]	医師	7					○	○	○	○	○	○	○																
[redacted]	看護師	14							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
[redacted]	心理士	9											○	○	○	○	○	○	○	○	○								
[redacted]	医師	8												○	○	○	○	○	○	○	○								
[redacted]	調整員	6																			○	○	○	○	○	○			
[redacted]	作業療法士	5																				○	○	○	○	○			
[redacted]	看護師	7																				○	○	○	○	○	○	○	
[redacted]	医師	5																						○	○	○	○	○	
[redacted]	医師	2																						○	○				
[redacted]	鍼灸師	7		○	○	○	○	○	○	○																			
[redacted]	鍼灸師(熊本)	14					○	○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○				○		○		
[redacted]	鍼灸師	10														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
[redacted]	鍼灸師(鹿児島)	2																○	○										
[redacted]	鍼灸師(鹿児島)	3																○	○	○									
[redacted]	鍼灸師	7																	○	○	○	○	○	○	○				
[redacted]	鍼灸師	6																		○	○	○	○	○	○				
[redacted]	鍼灸師	3																		○	○	○							
[redacted]	鍼灸師	4																				○	○	○	○				
[redacted]	鍼灸師(熊本)	4																			○	○	○	○					

医師	**5**		1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			2	2	1	1	1	
看護師	**3**		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	1	1	1	1	
鍼灸師	**10**		1	1	1	2	2	1	2	1		1	1	1	1	2	4	5	6	6	6	6	5	5	5		1		
作業療法士	**1**																					1	1	1	1	1			
心理士	**1**													1	1	1	1	1	1	1	1								
調整員	**3**	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1									2	2	2	2	2	2	1	1	1
合計	**23**	**2**	**5**	**5**	**5**	**7**	**5**	**5**	**6**	**5**	**4**	**4**	**5**	**5**	**5**	**6**	**8**	**9**	**10**	**12**	**12**	**10**	**12**	**11**	**5**	**4**	**3**	**1**

活動の流れ

令和8年熊本地震　概要
日時：2026年7月28日　16時27分
地震の規模：マグニチュード7.1　最大震度7

日にち	場所	活動内容
7/28		地震発生直後より、現地関係者と連絡をとりはじめる
7/29	岡山→熊本県 益城町、八代市	AMDA先発隊チーム、岡山を出発（JR）、福岡県に到着（以降レンタカー）　益城町、熊本県庁訪問後、八代市へ
7/30	八代市　各避難所	八代地域保健医療福祉調整現地本部訪問（熊本労災病院内）、避難所担当の日赤班より市内避難所のアセスメント活動を行う
7/31	八代市立第四中学校	八代地域保健医療福祉調整現地本部の日赤班に 八代市立第四中学校での救護所活動を相談 避難所内巡回診療ならびに環境整備活動を開始 診療スペースの設営　7月31日337人　⇒　8月23日81人
8/1～23	八代市立第四中学校	避難所支援活動　館内巡回診療＆環境整備 （日赤班に引継ぎを行う） ※8月２８日には避難所集約のため避難所は閉鎖
8/12～20	八代市立第四中学校	鍼灸活動（地元鍼灸師の方も参加し引継ぎを行う）

活動場所


八代市立第四中学校
避難所（AMDA常駐）
八代地域保健医療福祉調整現地本部（熊本労災病院）:初期
八代地域保健医療福祉調整現地本部（総合庁舎）:後期
八代市役所
煙突が倒れた
日本製紙工場
八代市立第四中
熊本労災病院
熊本県県南広域本部
八代地域振興局保健...
八代市役所
日本製紙㈱ 八代工場
八代市立第二中
八代JCT

指揮命令系統

- 7月29日　熊本県庁内の災害対策本部、八代市内の災害対策本部訪問
  熊本労災病院内の八代地域保健医療福祉調整現地本部訪問
- 7月30日　市内の避難所アセスメント調査を依頼（日赤班より）
  多くの避難者数を抱える避難所を複数周り、避難所内での
  救護所活動に移行する事を相談（八代市立第四中学校）

※八代地域保健医療福祉調整現地本部の元で以降活動を継続。





活動内容①（時期別）

- 避難所で最初に行った事は、環境衛生について
  避難所運営として行政職員が2名体制で2交代制で3班対応
  下水道は可能だが上水道が停止中の為、プールから大きな
  バケツに汲みトイレ近くに移動す更にバケツに溜める
  使用後にバケツの水で流す作業

※タンクに入れると漏れる為、使用後に直接流す作業
※避難所運営と医療でミーティングを行う事
※避難所内でのルールを決めて行く事









活動内容②（実績・エピソード）

- AMDA災害鍼灸チームとして避難所での活動に参加されました。
  初日は受療者9人でしたが、最大で1日28人まで広がりました。

※痛みを取るだけでなく、短い時間でも自分の話を聞いてもらえた安心感に起因する部分も大きい。張り詰めた空気感があまりなく、穏やかだった。

※鍼やマッサージを受けながら会話をすることで、心のケアにつながり、それが次第に身体の痛みのケアにもつながっていく。







鍼灸が始まってから、避難所内で感じられた変化

変化は個人の身体だけでなく、避難所という「場」にも及ぶ。

個人の変化	関係の変化	場の変化
痛みや不安が軽減され、表情が明るくなる。会話が増える。	鍼治療が人気で、被災者の方々と良好なコミュニケーションが取れている。	支援が入ったことで救われた方が多く、避難所の空気が明るくなった。

身体に向き合う時間が、その人の安心と、避難所の空気をつくる。

身体へのケアが、避難所の空気を変えることがある。

うまくいったこと・工夫

- 医療チームとして避難所に常駐する事で、避難所運営者と避難者、施設管理者の不安を取除き安心感を与え、感染対策への早期対応を実現する事が出来たと感じる。
- 運営者のみの引継ぎ事項ではなく、支援者全体での情報共有を行うミーティングを開催する事で、現在抱えている問題やこれから必要となる事について情報共有する。
- 避難内で朝のラジオ体操、一斉清掃を避難者含めて全員で行う事から始める事が出来た。









課題

- 地域毎に課題があると感じます。

　今回の熊本地震で地域性の課題は、上水道より地下水の利用世帯が多く水道の復旧工事、井戸掘り業者の不足を感じました。

- 夏場の避難所で体育館に大型のエアコンが完備されていましたが、一部扇風機やスポットクーラーを活用したがブレーカーが落ちるため配線の取り回しを工夫されていた。また、冷房で体育館を締切りする、空気の循環装置が後から導入されました。
- 避難所での食料提供について、レスキューライスやパンと言った物が多く、行政からの炊出し提供が少なかった。
- 余ったパンの賞味期限問題。
- 物資の要請に対して、要請以上に物資が送られて来るため、その対応にも困られている。
- 活動時の報告先や情報伝達ツールがそれぞれにあり独自ツールでは無く共有利用するように工夫が必要。

岡山に還元したいこと

- 避難所

　備蓄でダンボールベット、避難所運営に行政職員・施設管理者・住民代表で構成、定期的に避難所内で情報のアナウンスを行う。

- 南海トラフを想定されている地域の避難所へは外部からの物資が届きにくいと思われるので事前に備蓄を計画し、衛生環境としてトイレの活用方法について確認が必要です。

　今回、トイレの後ろタンクが２重構造で外側はダミーで内側に水を貯めないと漏れ出てしまう事が判明したため。